

杜の都の環境をつくる審議会
第7回「仙台市みどりの基本計画」改定検討部会 議事概要

日 時：令和3年4月26日（月）15時00分～16時45分

会 場：仙台市役所本庁舎2階 第一委員会室

出席委員：舟引部会長，小貫委員，近藤委員，渡邊委員（計4名）

欠席委員：池邊委員，福岡委員

事務局：建設局理事，百年の杜推進部長，百年の杜推進課長，同課主幹兼企画調整係長，
公園課長，同課公園整備担当課長（計6名）

司 会：百年の杜推進課長

1. 開会

○事務局（熊谷課長：百年の杜推進課）

—開会—

—議事録署名人の指名、傍聴ルールの説明—

- ・議事録署名人：舟引部会長，小貫委員

2. 議事

(1) 仙台市みどりの基本計画答申案について

○事務局（菅原主任：百年の杜推進課企画調整係）

—資料1-1，資料1-2，資料1-3について—

○舟引部会長

- ・本日は委員が3名のみなので，順に意見を伺いたい。まずは小貫委員いかが。

○小貫委員

- ・耕作放棄地に言及する修正は私からお願いしたのだが，良くなったと思う。
- ・パブリックコメントで寄せられた市民意見は多くの意見が割と具体的な内容に踏み込んでおり，事業を具体的に検討する段階になって生かされてくるようなものが多いと感じた。
- ・計画書に記載の事業・取組みは，既に具体的な内容が見えているものだけであるため，みどりの基本計画に掲げる基本理念を実現するために必要なプラスαの事業・取組みが盛り込まれていない可能性があると思う。
- ・市民意見では，我々検討委員のアイデア提案を見てみたいなど，具体的な要望が挙がっているが，今後，アクションプランを作成する際に市民意見を反映しながらまとめていく必要があると感じた。

○事務局（水嶋主幹：百年の杜推進課主幹兼企画調整係長）

- ・アクションプランでは、パブリックコメントでいただいた市民意見について、取り込めるものは取り込んでいきたいと考えている。

○小貫委員

- ・アクションプランはどのような体制で検討するのか。
- ・みどりの基本計画に関しては部会で議論を重ねてまとめてきたが、アクションプランも、市役所内での検討だけで作成するのではなく、市民や企業など、色々な人に参画してもらおうようなことが必要だと思う。

○事務局（水嶋主幹）

- ・アクションプランの作成は、基本的にはみどりの基本計画に基づき庁内での検討を中心に進めていくことになると考えているが、市民の意見をいただく場を設けることも検討したい。また、アクションプランは審議会にも報告し、意見をいただきたいと考えている。

○小貫委員

- ・今の話だと、既に見えている事業・取組みのみでアクションプランをまとめようとしていると受け止めたが、パブリックコメントで寄せられた市民意見を踏まえて、プラスαの事業・取組みを議論する場がある方がいいのではないかと感じる。
- ・計画書に記載の事業・取組み以外には何もやらないということではないと思うが、プラスαの事業・取組みを議論する場が必要なのではないかと感じる。

○舟引部会長

- ・ただいまの小貫委員からの意見について、本日の部会は建設局理事や百年の杜推進部長も出席しているため、この質疑応答が終わるまでに回答を考えてほしい。
- ・近藤委員はいかがか。

○近藤委員

- ・前回のみどりの基本計画策定にも部会委員として関わったが、今回の改定検討が始まる時に前計画とは内容がだいぶ異なってくるのではないかと話した。これからの10年、社会の変化は更に早くなっていくのだろうと思うが、今回の計画は前計画策定時からの社会の変化に即した、良いものができたと思う。
- ・この計画を具現化していくためには、市の関係者の意欲が非常に大事であるため、絵に描いた餅と言われないように、実現に向けて頑張ってもらいたい。

○舟引部会長

- ・次は渡邊委員いかがか。

○渡邊委員

- ・計画書は読みやすく、かつ分かりやすくまとめられたと感じる。
- ・資料1-2のパブリックコメントで寄せられた市民意見の中に、今後、気をつけた方が良いものが含まれているため、3点ほど指摘しておきたい。

- ・ 1点目は40番の意見。4行目以降で「『～何が守るべきみどりなのか、何が触れられるみどりなのか』ということについて基本的な知識が必要である。」とあるが、このことは、現代の子どもたちにとって、とても大切なことであると思う。現代社会は、基本的にはやってはいけないことで世の中が縛られてしまっており、明確に許可されていることしかやってはいけないと考える子どもが増えているように感じる。
- ・ みどりとの触れ合いを通して、自然との付き合い方の基本を学ぶことは大事であり、市の回答にもあるように、環境学習等に取り組んでいくことは大切なことである。
- ・ 2点目は78番の意見。建物の緑化について、自然を感じられる場所があれば良いと思うということであるが、みどりの基本計画に寄せられた意見であるため、緑化は必須として、その緑化に関しては、これまでの部会や審議会での議論を踏まえて、にぎわいや場としての魅力の創出というところまで考えを広げてほしい。
- ・ 3点目は82番の要望。インクルーシブな公園ということで、公園管理のあり方が問われており、実現に向けては、PPP（Public Private Partnership：官民連携）や何か別の手法などを検討していく必要があると思う。
- ・ 全ての公園で取り組むというよりは、優先順位をつけて取り組んでいくことになると思うが、今後大事にしていかなければならない考え方であると思う。

○舟引部会長

- ・ 順に発言してもらったが、その他にはいかがか。

○小貫委員

- ・ 郊外の街路樹の改善に言及された32番と47番の意見について、この部会で私も何回か意見しており、特に東部地域で杜の都という雰囲気があまり感じられないが、街路樹を新植するなどの整備計画は予定されていないと聞いた。市民意見も踏まえて、今後、そのようにみどりが不足している地域をどのようにしていくかという視点も持ってほしい。
- ・ 14番の提案は、施策の記述内容をもっと明確にするべきではないかという趣旨だと思うが、同感である。また、池邊委員からも評価指標の中間見直しなどへの言及があったが、こちらも同感である。
- ・ 重点的な取組みのイラストはとても良くなったが、まだ改善の余地があると思う。

○舟引部会長

- ・ （イラストの改善について）事務局はどのイラストへの意見か理解しているか。

○近藤委員

- ・ どのイラストについて言っているのか。

○小貫委員

- ・ 事前説明時の資料を見ているのだが、例えば63ページの「生態系を育むみどりの保全・創出」のイラストである。イラスト内で、街と川が分離している印象を抱いてしまうのだが、もう少し街と川が近い方が良い。水辺への親しみやすさからみどりを身

近に感じることができるのが仙台の特徴だと思うが、このイラストからはそれが伝わらない。

○近藤委員

- ・現状に即してイラストが描かれているように思うのだが。

○小貫委員

- ・重点的な取組みは市が現状を変えるために行う取組みであり、イラストはそれを可視化したものなのではないのか。例えば、青葉山公園で親水空間を整備するとあるが、それをイラストでは都心に近い公園でもっと水辺に親しめるにようにするという市の意気込みとして、もう少し反映されると良いのだと思う。

○舟引部会長

- ・確かに広瀬川は堀のようになっている川で、人が河川空間に入りにくくなっているが、青葉山公園追廻地区での公園整備では親水空間を創出するという計画があるのだから、それをイラストに盛り込むのはどうか。

○事務局（水嶋主幹）

- ・検討したい。

○舟引部会長

- ・私の持論ではあるが、計画作りでは専門家の意見をしっかりと聞き、科学や技術的な観点から案を練っていくことが大切であり、その役割を審議会とこの部会が担ってきた。ただ、専門家の意見を聞くだけでは不十分であり、本計画では市民が該当するが、利害関係者の意見もきちんと聞かなければならない。
- ・コロナ禍で予定されていたワークショップができなかったことが残念ではあるが、その分、パブリックコメントで寄せられた市民意見にはしっかり向き合う必要があると考え、事務局には対応内容の説明を丁寧に行うようお願いした。
- ・パブリックコメントはこれで終わりではなく、寄せられた市民意見とそれに対する市の考え方というのは、半ば約束みたいなものであるから、事務局では組織としてきちんと共有して、実現できるものは実現して欲しい。
- ・大体意見が出尽くしたが、アクションプランの作成の進め方について、事務局から何か話してもらえるか。

○事務局（佐々木部長：百年の杜推進部）

- ・アクションプランの作成にあたっては、みどりの基本計画に盛り込んだ事業・取組みをベースに、可能な限りパブリックコメントでいただいた意見や要望を取り込んでいけるようにしたい。
- ・アクションプラン作成後は、これまで同様に毎年、審議会に進捗状況の報告をしていきたいと考えており、その中で、事業の見直しや新たな事業・取組みの追加も行っていくこととしたいと考えている。

○舟引部会長

- ・その他はいかがか。

○小貫委員

- ・掲載されている図の文字が見えづらいものがある。また、各区の施策図も小さくて見づらい。計画書としての体裁をしっかり整えてほしい。

○事務局（菅原主任）

- ・各区の施策図はA3見開きにするなど、改善できるものは改善している。また、文字が見えづらくなってしまっている図等がないか改めて確認し、修正したい。

○舟引部会長

- ・計7回も部会を開催したが、各委員には感謝を申し上げる。

3. 閉会

○事務局（熊谷課長）

—閉会—